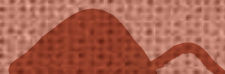


熊延鉄道遺跡と沿線

探検ガイドブック

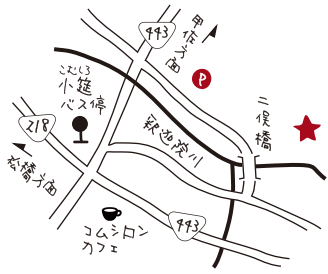
タイムトラベル くまもと

ゆう  
熊延えん鉄道も  
探そう



# 森の中の 怪しげなトンネル。

恋人たちの聖地として有名な美里町の二俣橋の奥の森に、突然現れる巨大なコンクリートの構造物。八角形の輪が7つ連なってトンネルのように見える。一体いつ頃、誰が、何のために造ったものなんだろう？



こんなもの？

二俣橋の奥の森に

魔界の入り口

二俣橋の奥の森に



### 森に苔むした古代遺跡。

佐俣の湯の近く。川のせせらぎを聞きながら森を降りていくと、突然川に立つ塔のような巨大な構造物に遭遇した。川に沿って歩くとおなじようなものが何本もある。映画で見たジャングルの古代遺跡のようだ。



### 民家の壁に色あせた駅の看板。

線路らしきものはどこにも見当たらないのに、普通の民家の壁に掲げられた駅名標。「しゃかいん」とあるが、3333段の階段で名高い釈迦院への参道とはずいぶん離れた場所だ。



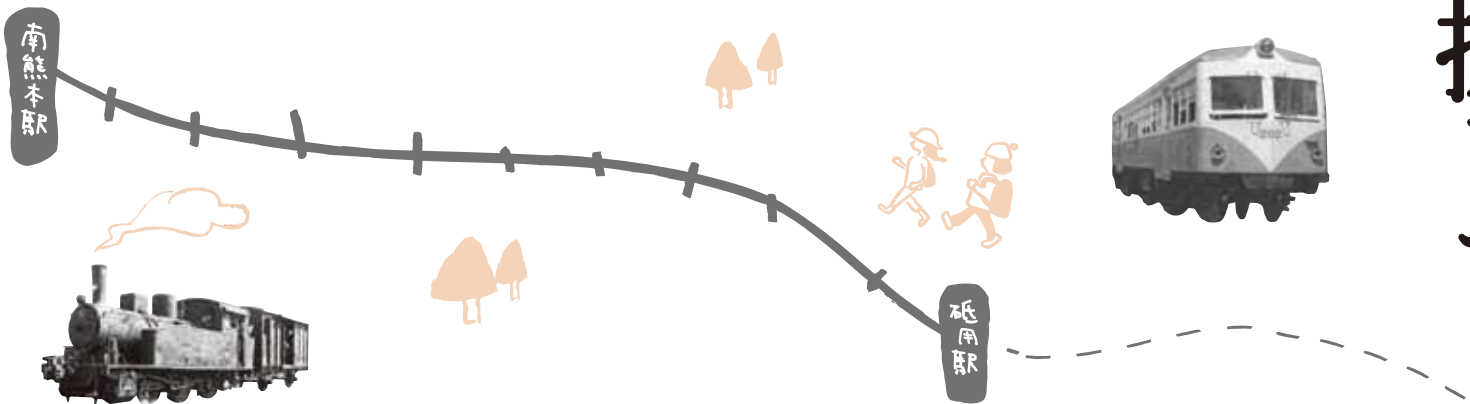
# むかしを探して、

森を歩いていたら突然八角形のトンネルが出現！小さな川の真ん中になぜか石造りの塔が！美里町から南熊本にかけて、不思議なものを見たという報告が多くの人々から寄せられています。

実はこれ、熊延(ゆうえん)鉄道「延」は延岡の延。1世紀以上も昔、熊本と延岡を直接結ぶ鉄道が計画され、実際に南

熊本と美里町の砥用間を、蒸気機関車やディーゼルカーが走っていたのです。

この旅は、これまであまり経験したことのない新しい旅山の中を、田園地帯を、住宅地をゆっくり歩きながら、遠い昔に想いを馳せる。沿線に暮らす人たちとふれあい、美味しいものを食べる旅。さあ、あなたも熊延鉄道の遺跡を探しに出かけてみませんか。



百年前、鉄道があった！… 07



遺跡を探そう  
【美里町エリア】… 11



トリビア1  
「熊延鉄道の車両たち」… 15



私の熊延鉄道1  
(堀田三直さん)… 17



遺跡を探そう  
【甲佐町エリア】… 19



トリビア2  
「熊延鉄道が走っていた時代」… 23



私の熊延鉄道2  
(中村弘之さん)… 25



遺跡を探そう  
【御船町エリア】… 27



私の熊延鉄道3  
(林弘明さん)… 31



遺跡を探そう  
【嘉島町エリア】… 33



私の熊延鉄道4  
(堀口章さん)… 35



遺跡を探そう  
【熊本市エリア】… 37

熊延鉄道マップ… 41

熊延鉄道の歩き方… 39

# いまを楽しもう。

百年前。

遙か延岡を目指した、  
伝説の鉄道があった。



緑川の鉄橋を渡る蒸気列車

り始めました。廃止されたのは1964年の3月。急速に進むモータリゼーションの波に飲まれ、高度経済成長を見届けることなく、その姿を消してしまいました。当初は御船鉄道と呼ばれ、後に延岡までの延伸が決まると、熊延鉄道と名称を変えました。しかし、実際に走っていたのは南熊本から砥用までの約30キロ。砥用から先への延伸計画は立ち消えとなりました。ちなみに熊延鉄道廃止後の公共交通は現在、熊本バスが担っています。

### 激動の大正、昭和を 駆けぬけた熊延ゆうえん鉄道

熊本市と宮崎県延岡市を結ぶという壮大な構想のもと1915年、熊延鉄道は春竹駅（現南熊本駅）から鯉駅（嘉島町）間を走



通勤通学時間帯の  
南熊本駅ホーム

田園を抜け、川を渡り、  
森の中を、山の町へ。



南熊本駅を出発した列車はしばらく田園地帯を進み、田迎駅を経て良町(ややまち)駅に着きます。中の瀬駅を過ぎ加勢川の鉄橋を渡ると鯉駅。さらに田園の中を西に進むと上島駅。上島駅からは御船川を右に見ながら六嘉駅、小坂村駅を経て御船駅に到着します。そこから列車は御

船川の鉄橋を渡り、妙見トンネルを抜けて緑川流域へ。だんだん狭くなる平野を通り、甲佐駅に入ります。甲佐駅を出ると緑川を渡り、いまでも残っている八角トンネルを過ぎ、津留川を渡って佐俣駅に。佐俣駅からは川を何度も渡りながら釈迦院駅、砥用駅へと続きます。



上/ 津留川鉄橋を渡るディーゼル車両  
下/ ディーゼル車両の車内

熊延鐵道線圖



当時の路線図

されているので橋脚部分のみが残っています。人けのない森の中で、突然その橋脚に遭遇すると、まるで誰にも知られていない古代遺跡を発見したようなワクワク感が湧いてきます。

砥用駅跡と佐俣駅跡の間にある釈迦院駅の駅舎跡の民家の壁には、当時のままの駅名標が設置してあります。

4月の花祭りでは釈迦院駅で鉄道を下りて釈迦院に歩いて登って参拝する人も多かったです。

美里町は石橋の町としても有名で、道の駅をはじめ、おしゃれなカフェやパン屋さんなど、楽しめるスポットがたくさんあります。



八角トンネル

## 美里町エリア

熊延鉄道の遺跡を探そう

## ここは遺跡の宝庫。



熊延鉄道遺跡の中でもっとも有名なのが恋人の聖地として有名な二俣橋近くにある通称「八角トンネル」です。本来この建造物はトンネルとしてではなく、津留川沿いを走る路線の落石よけとして造られたものです。なぜか八角形の洞門が整然と並んでおり、神秘的で、まるでどこか別の世界へつながる入り口のように。

もう一つの目を引く遺跡もここ美里町にあります。それは「第二津留川橋梁橋脚」。現在、橋桁は撤去



佐俣駅付近 / 撮影日不明  
原型を留める数少ない遺構

### 3 森のぱんや

☎ 0964-46-2037  
**所** 熊本県下益城郡美里町佐俣1090  
**営** [平日] 9:00~18:30  
 [土日祝] 8:00~18:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日、不定休あり)



総菜パンから  
おやつパンまで



### 4 道の駅 美里「佐俣の湯」

☎ 0964-46-4111  
**所** 熊本県下益城郡美里町佐俣705  
**営** 直売所 9:00~18:00  
**休** 第2木曜(祝日の場合翌日)

### 5 二俣橋

☎ 0964-47-1112  
 (美里町林務観光課)  
**所** 熊本県下益城郡  
 美里町佐俣・小筵



とうふのもろみ漬けを使った  
コムシロンパスタ

### 6 八角トンネル

☎ 0964-47-1112  
 (美里町林務観光課)  
**所** 熊本県下益城郡美里町小筵



### 7 コムシロンカフェ

☎ 0964-46-3665  
**所** 熊本県下益城郡美里町小筵927  
**営** [月~木] 11:00~15:00  
 [金] 11:00~15:00、18:00~21:00  
 [土日祝] 11:00~21:00  
**休** 不定休

### 砥用駅跡



### 1 大窪橋

☎ 0964-47-1112  
 (美里町林務観光課)  
**所** 熊本県下益城郡美里町大窪

### 釈迦院駅跡



### 2 第二津留川 橋梁橋脚

☎ 0964-47-1112  
 (美里町林務観光課)  
**所** 熊本県下益城郡  
 美里町佐俣



### 佐俣駅跡



かつての第二津留川橋梁



# 熊延鉄道の 車両たち



5号機関車

5号機関車。1927年から1964年までの長期にわたって活躍

## 小さな体の働き者

開業時に走っていたのは小型の蒸気機関車。路線延長とともに乗客や貨物量が増加。牽引する車両も増え、高馬力のものに変わっていききました。1927年に蒸気機関車と併用して、当時としてはモダンなデザインのカンクリン客車が走り始めました。カンクリン客車は蒸気機関車のように煤で汚れない点や姿が洗練されているという点で乗客に人気が高かったようです。1960年にはディーゼル機関車が登場。大量貨物の牽引に活躍しました。

yuon tetsudo



【ザン102】

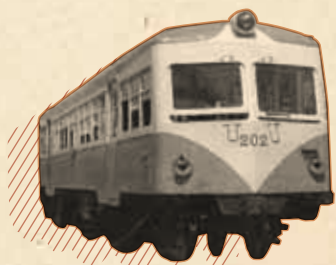
1950年に導入された汽車会社製ディーゼルカー。窓の部分はクリーム色で窓の上下は明るい空色、屋根は銀色。片側に大きなバケットを備えていました。

【DC251】



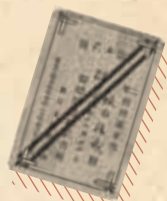
オレンジの車体に緑の帯が特長。最大馬力は270馬力で山から切り出した大量の木材などを運びました。

【ザン202】



前面の窓を開け閉めできるのは熊延鉄道の気動車の特長。運転席から入ってくる風が心地よさそうです。

当時の時刻表、  
特別乗車券



trivia

# 私の 熊延鉄道 No.1



## 多い日の乗客は 4400〜4500人。

の大きな若い女性とそのお母さまらしき人が乗車してこられました。あの辺りは坂が急でカーブも多かったせいか、早く病院へ行かないと列車の中で生まれてしまう!という状況になりました。幸運にもなんとか南熊本駅にたどりついて、跨線橋を渡らなくてもいい私たちが職員が妊婦さんの荷物を持って直接線路の上を渡り、駅からタクシーに無事乗せることができました。その時生まれた子どもさんが小学校に入学したときに本立てを贈っ

て、とても喜んで頂いたことをよく覚えています。



ホイッスルと切符切り

こうもり傘の  
落とし物で  
怒られたこと。

あれは梅雨の暑い日のこと。窓を全開にして走っ

今にも子どもが生まれそうな妊婦さんを  
南熊本駅から熊大病院へ。

車掌として勤務したのは1960年から1964年のお別れ列車まで。最後の日はいつも同じ車内放送「お忘れ物のないよ

りだったので、薄情な仕打ちに思えたのでしよう。まさか傘で怒られるとは! そんな時代だったのでしょう、それも懐かしい思い出です。



元熊延鉄道職員

堀田 三直 さん

1956年、高校卒業と同時に熊延鉄道に入社。駅員などを勤めた後に車掌となり、1964年の3月31日のお別れ列車にも、車掌として乗務。



堀田さんの  
車掌時代の腕章



甲佐駅跡記念碑

# 甲佐町エリア

熊延鉄道の遺跡を探そう

の浅井駅の駅舎は、建設会社の資材置き場になって今も残っています。御船町との境付近にある国道443号の妙見坂トンネルは、かつての熊延鉄道のトンネルを拡張したものです。トンネルの手前は少し急な坂道で、上り列車は一気に上ることができずに一旦バックして加速し、勢いをつけて上ることもあったとか。

甲佐町には新鮮でとれたての美味しい鮎が食べられるやな場や、おしゃれな雑貨と珈琲や軽食が楽しめるカフェ、メンチカツが有名な精肉店など、バラエティに富んだ人気の店がいろいろあります。



甲佐駅 / 1963年8月13日  
左に広がる側線、右の駅舎など

## 駅前通りの駅はどこに。

甲佐駅は、山から切り出した木材を運ぶ内大臣森林鉄道との連絡駅でした。熊延鉄道に積み替えるための広大な営林局の貯木場が隣接した一大拠点で、敷地の一部は現在、熊本バスの車庫として使われています。車庫の裏通りが「駅前通り」と呼ばれているのは、かつて製材所や運送会社が並んでいたときながら、今はその痕跡を見つけることはできません。

南熊本駅方面、甲佐駅の次

## 12 trattoria SanVito

☎ 096-285-1763  
**所** 熊本県上益城郡甲佐町仁田子549 旧西村邸  
**営** [ランチ]11:30~15:00 (ラストオーダー14:00)  
 [ディナー]18:00~22:00 (要予約・ラストオーダー21:00)  
**休** 水曜



日替わりランチ一例



## 13 カフェ&ダイニング くろすカフェ

☎ 090-4483-3203  
**所** 熊本県上益城郡甲佐町岩下107 2F  
**営** [平日] 12:00~14:00、19:00~翌1:00  
 [土日] 18:00~翌1:00  
**休** 不定休

### 甲佐駅跡



ニラ入りメンチカツ  
にらメンコ。®



### 浅井駅跡



## 14 高田精肉店

☎ 096-234-0057  
**所** 熊本県上益城郡  
 甲佐町船津4-6  
**営** 10:00~19:00  
**休** 火曜

### 下早川駅跡



## 8 甲佐神社

☎ 096-234-1111  
 (甲佐町役場内観光協会)  
**所** 熊本県上益城郡  
 甲佐町上揚882



蒙古襲来絵詞  
(拡大模写)

## 9 甲佐町やな場

☎ 096-234-0125  
**所** 熊本県上益城郡甲佐町豊内19-1  
**営** 6月上旬~11月下旬  
**休** 不定休



鮎料理

### 南甲佐駅跡



## 10 dining space 樂時

☎ 096-284-1523  
**所** 熊本県上益城郡甲佐町緑町17-3  
**営** 11:30~18:00 (要予約)  
**休** 木曜(不定休あり)



カステラの  
角切りが入った  
マッシュマロ



日替わりランチ一例

## 11 池田製菓舗

☎ 096-234-0118  
**所** 熊本県上益城郡  
 甲佐町豊内574  
**営** 9:00~19:00  
**休** 日曜



甲佐町  
エリアの  
見どころ  
遺跡  
グルメ

# 熊延鉄道が 走っていた時代



甲佐町貯木場

甲佐駅は内大臣森林鉄道との連絡地で、南熊本駅に向かう木材積替えの一大拠点でした。

町も人も  
活気にあふれていた  
全盛期

熊延鉄道は森林地帯から木材川から砂利などを運び、そこで暮らす人々を運ぶ動脈として重要な役割を担っていました。甲佐駅で内大臣森林鉄道と接続。大量の木材を積み替えて南熊本駅まで運んでいました。砥用町の駅前広場にはサーカスの一座が訪れ、佐俣駅からは石灰石が積まれていました。



## yuon tetsudo

緑川で砂利を採取して南熊本まで運んでいました。

### 【砂利】



### 【石灰石】

石灰石は佐俣の主な産品で、佐俣駅や釈迦院駅から積みこまれていました。

鉄橋に大きな大洋デパートの看板。

### 【デパート】



### 【映画】

御船駅の正面には映画館がありました。



現在のJR水前寺駅から陸自健軍駐屯地に至る約5キロの引き込み線。熊延鉄道が運行、軍事資材の運搬や労働員者の通勤などに使われました。

### 【引き込み線】



(三菱史料館所蔵)



(三菱史料館所蔵)

## trivia



元新聞社勤務・鉄道ファン  
中村 弘之 さん

熊本の新聞社に入社してまもなくカメラとレンズを購入。以来、熊延鉄道だけでなく、歴史的に貴重な鉄道写真を撮り続け、今は熊本城の案内ボランティアガイドとして活躍中。

## 終戦直後、 父親と乗ったのが 熊延鉄道の初体験。

### 9歳の私の前に いたのは「福岡」さん。

新聞社に入社してまもなく、純粹に興味として鉄道関連の写真を撮り始めました。いまでいう「撮り鉄」。国鉄や市電をはじめ

いろいろな鉄道写真を撮る中に熊延鉄道も含まれていたということですが、自分のカメラを手に入れたのが1960年頃でしたから、モーターリゼーションの波にほんろうされる熊延鉄道の様子を記



晩年の主役・デハ200型ディーゼル

頃、多くの人が大戦中の名残りで胸に名札をつけていました。ぎゅうぎゅうの車内で9歳の私の前にいた女性が「福岡」さんだったことをなぜか鮮明に覚えています。

### コレクターにとっては 垂涎の珍品。

録するための写真のよう  
に見られたりもします  
ね。熊延鉄道初体験はよ  
く覚えています。第二次  
大戦の終戦直後、親父の  
故郷の矢部に向け、行け  
るところまで行こうと南  
熊本駅から飛び乗ったの  
が熊延鉄道でした。その

鉄道ファン歴も長くなる  
と珍品に出合うことも  
少なくないのですが、こ  
れはとっておき！と自  
分で思っているのが、砥  
用駅の入場券です。昔は  
人を見送るのに入場券  
など買わなくても自由



ミスプリントのある  
入場券

にホームに入っていました  
だから、わざわざ入場券  
を求める人は少なかっ  
た。だから昭和一ケタ時  
代に刷られた券のミスプ  
リントが誰にも気づかれ  
ないまま残ったのだと  
思います。ほら、「下さい」  
が「下いさ」になっていま  
す。これはコレクターは  
欲しがらるはず(笑)。

### 最後の勇姿は カラーで。

お別れ列車は当時とし  
ては贅沢だったカラー  
フィルムで撮りました。  
美しい勇姿を未来に残  
せればいいと思っただ  
けです。私が初めて乗っ  
た頃のぎゅうぎゅう列  
車の面影は消え、すっか  
り乗客も減ってしまっ  
た熊延鉄道でしたが、最  
後は500人くらい乗っ  
ていて、昔のぎゅうぎゅう  
列車にもどったような  
感じを思い浮かべながら  
シャッターを切りました。

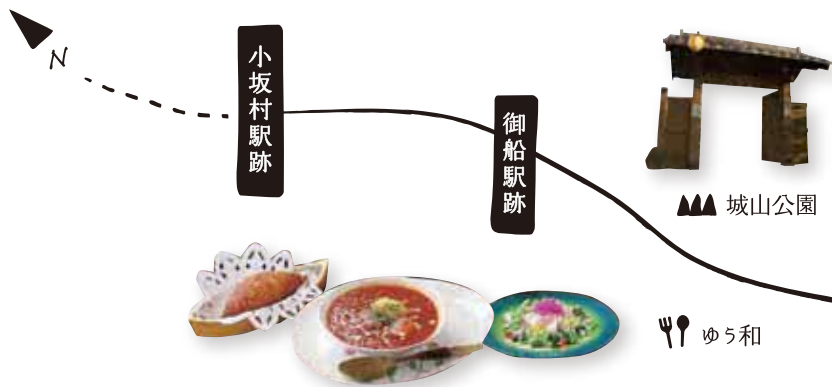


城山公園  
熊延鉄道社長 田副清像

熊延鉄道の遺跡を探そう

## 御船町エリア

には、下から覗くと鉄道時代の橋桁がわずかにみえるポイントがあるので探してみてください。御船町の中心部、御船郵便局の向かいが御船駅跡。路地に入るとタクシー会社の車庫や古いタバコ屋などが並び、繁栄した駅前通りの面影をかすかに感じることができるとはなりません。バイパス沿いに大きな電器店やホームセンターなどが集まる現在御船インターに隣接して広大な商業施設が計画されるなど急速な発展を続けています。



恐竜博物館

ケーキハウス  
ロシアン



辺田見駅跡

カフェ  
コンフィチュール



## 恐竜の町に 繁栄の面影。

大人気の恐竜博物館をはじめ、文化財・史跡・名勝も多い御船町ですが、熊延鉄道の痕跡を見つめるのは少し難しいかもしれません。御船城本丸跡を整備した城山公園には、かつて走っていた鉄道を見下ろすように、熊延鉄道の社長「田副清」の胸像が建てられています。御船駅の一つ手前の辺田見駅があった場所（現在の御船警察署の裏通り）の近く



御船駅 / 1964年3月31日  
熊延鉄道お別れ式典の様子

18 ギャラリー・レストラン  
ゆ5和

☎ 096-282-0428  
 所 熊本県上益城郡御船町滝川49-2  
 営 11:30~14:00、18:00~21:00  
 休 不定休



ポルシチ、ピロシキなどの  
代表料理



地元の産品を使った  
色とりどりのジャム

15 カフェ  
コンフィチュール

☎ 090-3073-9985  
 所 熊本県上益城郡御船町辺田見392-1  
 営 11時~夕方  
 休 水~金曜(祝日は営業)

御船町  
エリアの  
見どころ  
遺跡  
グルメ



19 御船町  
城山公園

☎ 096-282-1226  
 (御船町商工観光課商工観光係)  
 所 熊本県上益城郡御船町御船980



御船駅跡



小坂村駅跡



辺田見駅跡



アーモンドクリーム入りブッセ  
恐竜の卵

16 ケーキハウス  
ロシアン

☎ 096-282-3934  
 所 熊本県上益城郡御船町御船946-8  
 営 10:00~18:30  
 休 月曜

17 御船町  
恐竜博物館

☎ 096-282-4051  
 所 熊本県上益城郡御船町  
御船995-6  
 営 9:00~17:00(入場は16:30 まで)  
 休 月曜(祝日の場合は翌日)







## 花祭りの日は、大盛況。



林さんのご自宅に掲げられた駅名標

の積み込み駅の役割を担っていました。駅を出て南西に歩くと釈迦院への登山道になっていて、4月8日の花祭りの日には何本もの臨時列車が何百人もの参拝客を運んできたものです。いまでは登

山道も消え、釈迦院への参拝は3333段の石段の参道のみが使われるようになりました。今でも痕跡が残っている貨物ホームの裏手には石灰工場があり、盛んに石灰石の積み込みが行われていました。石灰は隣の佐俣駅にある大きな工場からも南熊本駅へ運ばれていました。

**坂では後ろから押すこともしばしば(笑)。**

今ではとても考えられないことですが、御船

### 釈迦院の門前駅であり、石灰石の積み込み駅でした。

私が今住んでいるこの場所が熊延鉄道の駅でした。父が熊延鉄道に勤めており、母はこの駅舎で

駅を出て妙見坂の中央あたりで立ち往生ということがよくありました。蒸気機関車の馬力がちよつと弱かったことと、坂が急だったことが立ち往生の理由でした。止まったときは列車は御船駅までバックして馬力を最大にしてトンネル

を抜けるのですが、石灰

を焚く蒸気機関車の煤煙で顔も服も真っ黒になったことを



当時の切符販売窓口



元美里町職員

## 林 弘明 さん

父親の林森平さんは熊延鉄道の職員で家族で釈迦院駅の駅舎で暮らしており、現在も釈迦院駅を改築した自宅に住んでいる。

切符を売る。まさに私たちの家族は熊延鉄道とともに暮らしていた熊延ファミリーそのものでした(笑)。釈迦院駅は釈迦院への参拝客が利用する駅としての役割と、美里町で採掘されていた石灰石

覚えています。また、甲佐駅から佐俣駅までの区間にも急勾配があり、スピードが極端に落ちて止まりそうになるので、力のある若い人間が列車を飛び降りて、押しながら列車を佐俣駅に到着させたこともありました。

## 浜線の由来は、 熊延鉄道。

熊本市のベッドタウンとして発展を続けている嘉島町のメイン道路浜線バイパスは、熊延鉄道の路線と大部分が重なっています。浜線という道の名も、熊延鉄道を山都町の浜町へ延長する計画から、浜町へ続く道という意味でつけられたのだそうです。この辺も痕跡を見つけるのは難しいですが、イオンモール近くの用水路に橋桁(ガーター橋)や橋脚が残っていたり、道の脇にコンクリート製の距離標のような杭が現れたり、細かく見ていけば、興味深い痕跡を見つけることができます。



上島駅跡  
ガーター橋

## 嘉島町エリア

熊延鉄道の遺跡を探そう

### 鯨駅跡



N



旬を頂く9種の前菜

🍴 せりぐち

21 kitchen  
せりぐち

☎ 096-237-3022  
**所** 熊本県上益城郡嘉島町鯨1857-1  
**営** 11:30~15:00、18:00~21:00  
 (ディナーは要予約)  
**休** 月曜、月に一度不定休で火曜休み

上島駅跡  
ガーター橋

上島駅跡

浮島神社



六嘉駅跡

20 浮島神社・  
浮島周辺水辺公園

【神社】☎ 096-237-1437  
 【公園】☎ 096-237-1111  
 (嘉島町企画情報課)  
**所** 熊本県上益城郡  
 嘉島町井寺2828・2829

上島駅跡

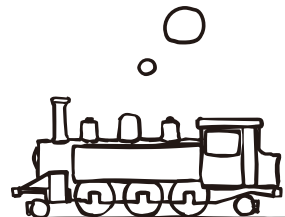


※橋梁跡

六嘉駅跡



上島駅 / 1964年 廃線撤去作業中。  
貨車や列車は工事現場の食堂兼休憩所だった。



## 我が青春の記憶。



元砥用町町議  
堀口 章 さん

熊延鉄道に勤務されていたお父さまの影響で小さいころから家族ぐるみで熊延鉄道との関係は深い。

### 廃線が決まったときは悲しかった。

堀口さん…私の父は熊延鉄道に勤めていたので、切符を買って汽車に乗ったことはありません(笑)。

顔パスで熊本市内に行けることを同級生からうらやましがられたりして、

親が熊延鉄道員で良かったなと思っていました。だから廃線になると聞かされたときはとても悲し

かったです。最後の日に

砥用駅でお別れ会が開かれて、「さようなら」の文字を入れたヘッドマークで飾られた汽車をみんなで見送ったことも深く記憶に残っています。

### 熊延鉄道の標語募集で入選

松永伸博さん…子ども時代に熊延鉄道の標語コンクールに標語を応募して入選したことがあります



堀口さんのお父さんが使っていた時計

を奪い合ったことも今では懐かしい思い出です。

### ― 祖父母と両親の間。 ―

た。その標語は浅井駅に飾られて、とても嬉しかったことを憶えています。熊延鉄道に活気があった頃、南熊本駅は御船砥用方面に帰る人で座れないくらい人がいっぱい混み合っていました。学生の私たちは席を取るために、改札口を抜けたら車輛に向かって一目散に走り、我先に座席

松永明美さん…子どもの私は3333段の石段の近くの祖父母の家で暮らしていました。両親は熊本市内に住んでおり、2カ月に一度くらいのペースで、佐保駅と南熊本駅を往復していました。それがどの鉄橋だったかははっきりしないのですが橋の真ん中で止まってしまっても怖かったことをおぼえています。熊延鉄道の鉄橋は国鉄の鉄橋と違って両サイドに何もなかったのです、この

まま下りて歩けと言われてたら足が震えて動けないので、動けー動けーと泣きながら神様に祈りました。

### 列車はディーゼル、車掌さんは勇前がいい。

中本律子さん…通勤通学の足として、廃線になるまで熊延鉄道のお世話になっていました。大学に通っていたのはちょうど蒸気の汽車がディーゼルカーに変わっていく頃でした。古くさくてトンネルでは煤だらけになる蒸気機関車より、黄色と空色のモダンなデザインで、煤を吐くことなくスマートに

走るディーゼルカーに一本ずらしてでも乗っていました。それから、若い車掌さんが勇前かどうか、女学生にとってはとても大事なことで、お目当ての人が乗っていると嬉しくてたまらなかったです。



青春時代を熊延鉄道とともに過ごしたみなさん  
(左から 松永伸博さん、松永明美さん、中本律子さん)

南熊本駅  
(JR九州豊肥本線)



熊本市エリア  
熊延鉄道の遺跡を探そう



熊本日日新聞(2014年11月7日付)より。  
現在ある公園との間に線路があった。

大きな  
ターミナル駅、  
南熊本駅。

熊延鉄道の始発駅は南熊本駅。駅前で市電とつながっていて、通勤や通学のためのターミナル駅として多くの人々に利用されていました。駅舎の横には広大な車両工場や事務所、石油タンクなどもありました。隣の田迎駅は東バイパスに取り込まれ、次の良町駅も店舗になり、当時の痕跡はほとんど残っていませんが、鉄道跡が今でも生活道路として使用されている場所があります。

田迎駅跡



GOAL

南熊本駅

田迎駅跡

良町駅跡

中の瀬駅跡

中の瀬駅跡



良町駅跡



かつての南熊本駅構内跨線橋から見たホームに降り立つ人々。  
写真左手には国鉄豊肥線下り列車が停車中。



南熊本駅前 / 1965年4月5日  
熊延鉄道廃線直後の市電ホーム

# 熊延鉄道の歩き方

沿線歩き  
フットパスコース、  
歩き方ガイド

当時の営業距離28.6キロを歩くことは、1日では難しいので、熊延鉄道から熊本バスとして生まれ変わった路線バス網を活かし、全体を区切って歩くコースを作りました。  
線路跡が荒れて通れないところや、交通量の多い幹

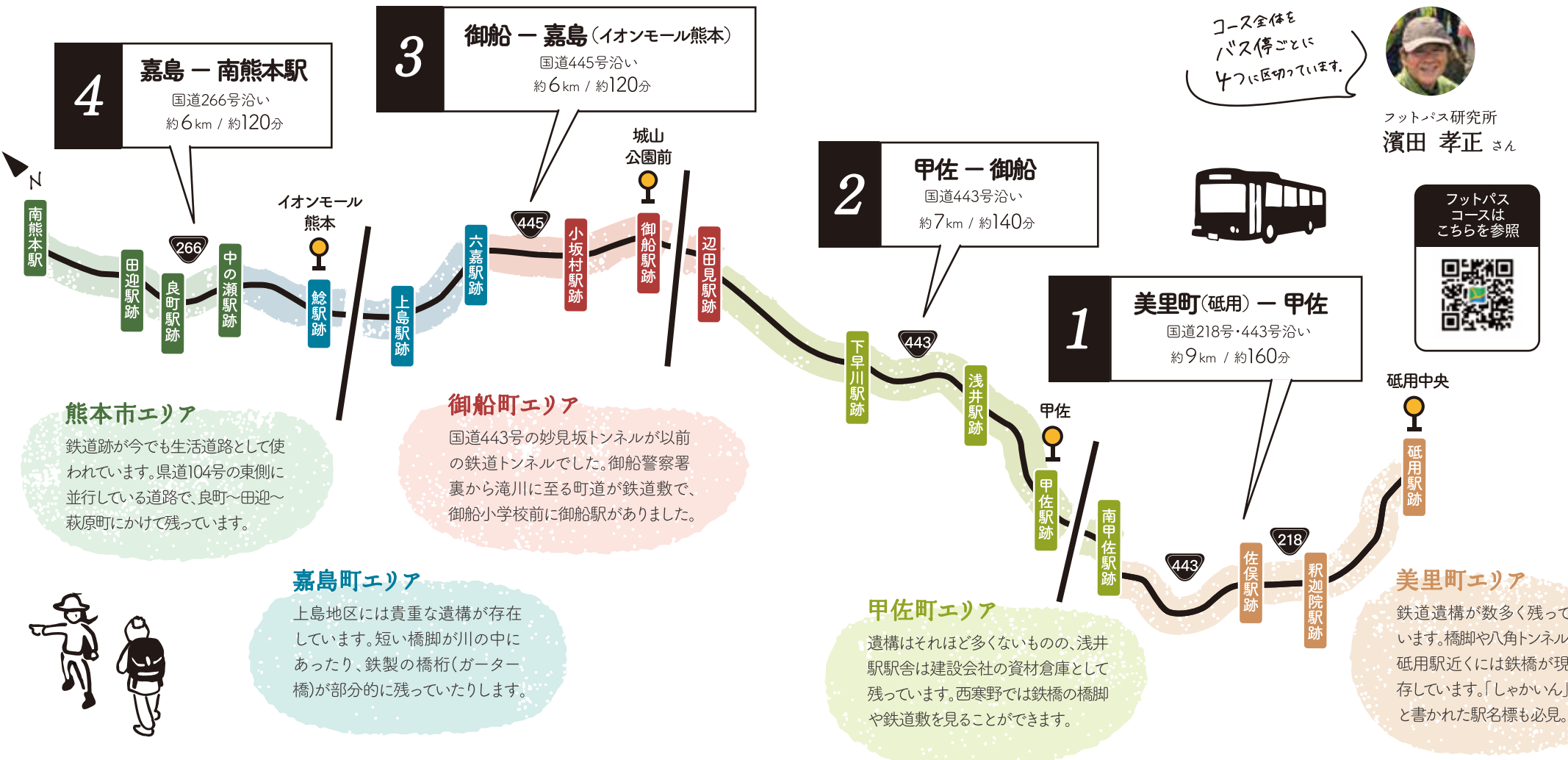
線部分は少し迂回すれば、その町らしさを感じることがができます。  
歩き方は自由です。1区間ずつ4回に分けて歩いて、2区間ずつ2回で歩くのもよし、まとめて1回で歩き通すことも可能です。先に路線バスで移動して歩き始めたり、歩き終わって路線バスで歩いた道を振り返ったりと、地域の風景を楽しみながら新しい旅を楽しんでください。思いがけない出会いがあったり、素敵なお店を発見したり、ちょっと立ち止まってお弁当を食べたりと、楽しみ方は多様です。

コース全体をバス停ごとに4つに区切っています。



フットパス研究所  
濱田 孝正 さん

フットパスコースはこちらを参照



**熊本市エリア**  
鉄道跡が今でも生活道路として使われています。県道104号の東側に並行している道路で、良町～田迎～萩原町にかけて残っています。

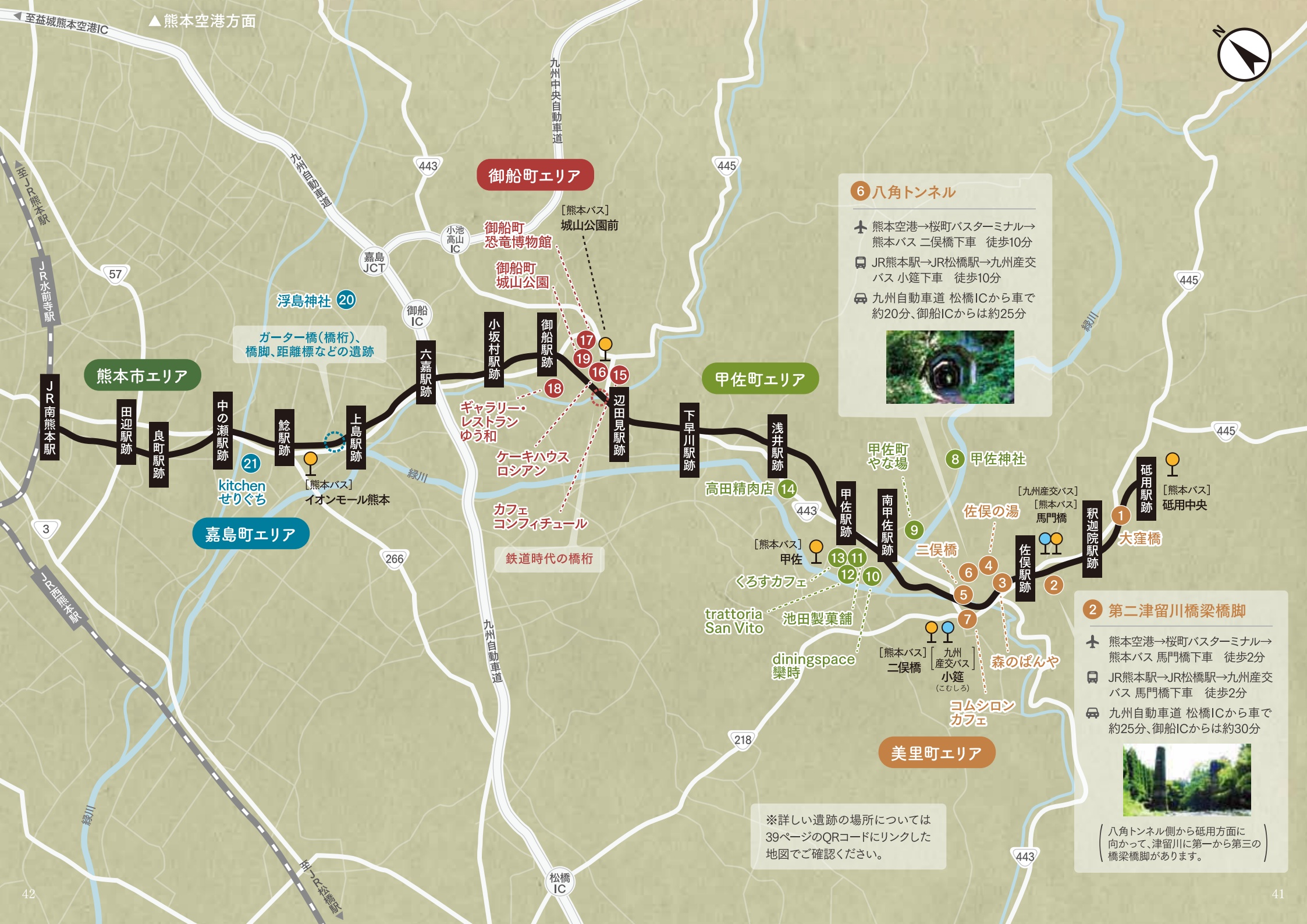
**御船町エリア**  
国道443号の妙見坂トンネルが以前の鉄道トンネルでした。御船警察署裏から滝川に至る町道が鉄道敷で、御船小学校前に御船駅がありました。

**嘉島町エリア**  
上島地区には貴重な遺構が存在しています。短い橋脚が川の中にあったり、鉄製の橋桁(ガーター橋)が部分的に残っていたりします。

**甲佐町エリア**  
遺構はそれほど多くないものの、浅井駅駅舎は建設会社の資材倉庫として残っています。西寒野では鉄橋の橋脚や鉄道敷を見ることができます。

**美里町エリア**  
鉄道遺構が数多く残っています。橋脚や八角トンネル、砥用駅近くには鉄橋が現存しています。「しゃかいん」と書かれた駅名標も必見。






**6 八角トンネル**

- ✈️ 熊本空港→桜町バスターミナル→熊本バス 二俣橋下車 徒歩10分
- 🚌 JR熊本駅→JR松橋駅→九州産交バス 小筵下車 徒歩10分
- 🚗 九州自動車道 松橋ICから車で約20分、御船ICからは約25分



**2 第二津留川橋梁橋脚**

- ✈️ 熊本空港→桜町バスターミナル→熊本バス 馬門橋下車 徒歩2分
- 🚌 JR熊本駅→JR松橋駅→九州産交バス 馬門橋下車 徒歩2分
- 🚗 九州自動車道 松橋ICから車で約25分、御船ICからは約30分



(八角トンネル側から砥用方面に向かって、津留川に第一から第三の橋梁橋脚があります。)

※詳しい遺跡の場所については39ページのQRコードにリンクした地図でご確認ください。

## 熊延鉄道を探そう

### 熊延鉄道 遺跡と沿線 探検ガイドブック

#### 【協力】

資料提供・監修（順不同・敬称略）

熊本バス株式会社

三菱史料館

合同会社フットパス研究所

株式会社熊本日日新聞社

#### 【お問い合わせ】

熊本県県央広域本部 宇城地域振興局 総務振興課

熊本県宇城市松橋町久具400-1

TEL 0964-32-2113

熊本県県央広域本部 上益城地域振興局 総務振興課

熊本県上益城郡御船町辺田見396-1

TEL 096-282-3044

※本誌に掲載している情報は、令和3年(2021年)2月現在のものです。  
発行後に情報が変更になることや、臨時休業等により利用できない  
場合がありますので、最新の情報や詳細については、各施設へお問  
い合せください。なお、本誌に掲載された内容による損害等は、補償  
いたしかねますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

発行者：熊本県

所 属：上益城地域振興局総務振興課

発行年：令和3年(2021年)